牛肉輸出認定受ける

東京市場卸協の東食ミートセブン

東京都から対マカオで

東京都の石原慎太郎知事名で、東京食肉市場卸商協同組合の組合員・㈱東食ミートセブン（阿部昌史社長）は2月12日付で「対マカオ輸出牛肉取扱施設選定通知書」を発給され、2月19日に東京都から通知書の交付（施設番号T－1）を受けた。

東京食肉市場では昨年12月18日、卸商組合が実施した組合員向け対マカオおよびタイ向けの輸出牛肉取り扱いに向けた説明会を実施し、組合員の経営資源である牛肉を積極的に海外輸出することで、経営意欲向上および東京食肉市場の活性化などに努める方向で輸出取り組みの推進を図ってきた。

今回のミートコンパニオングループの㈱東食ミートセブンの第1号認可で、組合員の一層の輸出促進意欲が高まるものと考えられる。

卸商組合の米澤達樹専務は「今回の輸出認定を契機に市場の活性化、中国向けへの突破口として積極的に輸出に取り組むことで、これまで以上に組合員の経営基盤が確立される。厳しい経営環境の中でさらなる事業多様化への一助になればと思う」

「今後とも全組合員が輸出認定に向け積極的に取り組むことで、世界の東京食肉市場、世界に冠たる和牛の輸出市場としての地位の向上が図れればと思う。最終的には関係組合員を組織化して輸出協議会への発展も検討したい」と述べている。

東食ミートセブンによると「今回の東京都の選定通知書により、このあとは厚生労働省の輸出食肉認定と畜場の認定を受け、さらに輸出相手国の中国・マカオ当局の承認を受けて始めて輸出となるが、いまのところ和牛のロース肉を主体に輸出する方向で計画を進めている」という。

環境についてシンポ

ORA 理解醸成と啓発

㈳大阪外食産業協会（ORA、会長＝大石重己・㈱ゼンショク社長）が主催する、「環境シンポジウム『もったいない！！』」が2月23日、大阪市阿倍野区の阿倍野区民センターで開催された。外食産業関係者や一般市民ら300人以上が来場し、環境問題への理解醸成、取り組みへの啓発活動を行った。

開催にあたり大石会長は「ORAも数年前から環境問題に取り組んでいる。今期も最重要課題の一つと考えている。少しでもお役に立てるよう、ORAも全力で取り組んでいきたい」とあいさつ。

シンポジウムでは、地球温暖化問題について「いま、私たちにできること」と題したDVDを上映。続いて環境への取

あいさつする大石会長

内臓市況

豚もよう眺め 牛小腸タイト

【東京】　◇豚内臓　気温の上昇とともに鍋物向けの白物の荷動きは鈍化している。在庫消化のため極端な投げ物も散見されるが、売れ行きは鈍い。かといって焼き材向けに赤物が目立って動き出しているわけでもなく、価格は今週ももちあい圏でもよう眺めか。

◇牛内臓　国産物は依然供給面が細く、とくに小腸は鍋物向けの引き合いが残っておりタイト感が強い。しかし、価格は現状から上げる状況にはない。輸入物は依然供給次第の値動き。

原皮市況

中国向け動き 今後活発化へ

【東京】　◇豚皮・牛皮　中国の旧正月も明けた。引き合い、為替、価格ともに好材料はないが、停留していたコンテナが戻り次第、中国向けの荷動きが再び活発になるものとみられる。牛皮については牛肉の消費不振に伴い低調な出荷頭数が続いており、輸出面では数量確保が今後、大きな課題となる。

部分肉市況

牛の動き鈍い 豚は小幅上伸

【東京】　◇牛部分肉　国内生鮮物　高級部位のヒレやロースは引き合いが鈍く、季節需要のカタロースも動きは止まった。ウデやモモ、スネといった低級部位は比較的好調だ。バラ系は需要期前で先物買いは3月に入ってからで、本格化は4月からか。

【日本食肉流通センター】　◇豚部分肉（チルド）　枝肉相場が強含みで推移する中、今週は月初で引き合いが活発化し、小幅上伸する可能性が示唆される。カタロース790円、ロース850円、バラ800円、ウデ470円。セットで630円か。

食鳥市況

国産モモ強い ブラモモ弱気

【東京】　◇国産物　モモ正肉は量販筋の特売需要が入ったことと、産地の出荷ベースが落ちていることから、冷凍在庫は払底状態。相場は強気配で推移するという例年にない動きだ。ムネ正肉は、加工筋が原料手当てに動き出したことで、やや強気の展開が見込まれる。副産物はササミの在庫増が懸念されている。

◇輸入物　米国産骨付きモモ肉は、タイトな需給展開から、卸値で460円前後と強基調で推移している。またブラジル産モモ正肉は、同400円ラインをかろうじて保っており、先行きやや弱気の展開が見込まれる。

食鳥正肉相場

農林水産省統計情報部発表

月・日		2.15	16	17	18	19	20
モモ	高値	838	838	休	810	787	759
	安値	567	567		570	571	571
ムネ	高値	253	253		253	253	253
	安値	161	150		160	160	160
手羽モト	高値	560	560		560	560	560
	安値	300	300		300	300	300
手羽サキ	高値	600	600		600	600	600
	安値	390	390		390	390	390
ササミ	高値	840	840		840	840	840
	安値	370	370		370	370	370
キ　モ	高値	520	520		520	520	520
	安値	300	300	み	300	300	300

食鳥市況

首都圏解体品相場

2月26日現在、仲間卸価格　（キロあたり・円）

◇国内物　（税抜き）

		生鮮物	凍結物
正肉	モモ	670～680	670～680
	ムネ	195～205	170～180

精肉はマルハニチロとロニアソーセージ・モモトに、子育て世代にも対応
オールポークの「生ウ
の「北の国牛」（北海道
る。
国産の豚・鶏肉を使用